


町長コラム

温故創新



最後の成人式

庄内町長 富樫透

令和3年度の成人式がゴールデンウィークに響ホールで開催されました。コロナ禍により昨年8月からの延期を経て、ようやくの開催の運びとなりました。対象者228人中、約半分ほどの出席者でしたが、夏の成人式では見られなかった晴着姿の参加者もあり、華やいだ会場となりました。

また、本年4月1日より成人年齢が18歳に引き下げられた事により、成人式という名称での式典は今回が最後になりました。明治時代から140年間続いた「成人」の定義に関する法制度が変わる時に「大人」の仲間入りをしていること、大きな決断を自分の意志で行う権利が生まれていること、自分が行う全てのことに関与して責任を持つという義務が発生していることを自覚し、社会を構成する責任ある大人の一員としてこれからの人生を自分らしく歩んでいただきたいと思えます。

代表のみなさんのスピーチでは、「教員として子どもたちを指導したい」「オリンピック選手になる」「漁師として頑張る」など力強い目標の他、「今日から急に大人にはなれない。自分のペースで社会に参加する」という等身大の発言もありました。恩師の先生方からは、中学校時代の懐かしいエピソードや当時の頑張りの様子、成長した教え子へのエールと励ましの言葉などもあり、会場は感動に包まれました。

夢の実現にむけてのチャレンジへの期待と共に、庄内町の担い手として幅広く活躍できるように、しっかりサポートする責任を果たしていきます。

夏には二十歳のつどいの開催予定です。どんな夢を語ってもらえるか？今から楽しみます。